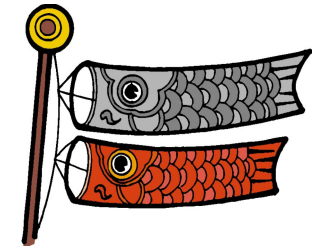


5月5日は子どもの日 子どもたちを取りまく環境



5月5日は子どもの日です。そこで今月の特集は子どもに関連した話題を取り上げてみました。

今は、社会人として社会に貢献している地域の方たちのなかにも、通った小学校、利用したことのある施設、記憶などを思い出していただけたら幸いです。

小学校の歴史

鶴瀬駅西口を起点とする関沢4町会、西みずほ台2町会、鶴瀬西9町会の子どもたちが通学する小学校は、「関沢小学校」と「つるせ台小学校」が開校されています。

「富士見市立関沢小学校」沿革



昭和44年（1969年）4月富士見町立鶴瀬小学校、鶴瀬西小学校、水谷小学校から分離独立し「富士見町立関沢小学校」として開校されました。

昭和47年市制施行により「富士見市立関沢小学校」と改名され、同年体育館が落成され、校章が制定され、昭和50年には、「校歌」も制定されました。昭和44年の開校から既に56年を迎えています。この春は465人の子どもたちが通っています。

「校章」の由来



校章の3つの富士山は、「富士見市」鶴瀬西、鶴瀬、水谷の「3つの小学校」が集まって開校されたことを示し、描かれた富士は、裾野が広く、理想の高い、地域の誇りを表し、関沢小学校教育の推進を表しているそうです。また、向かい合う二羽の鳥は、県の鳥であるシラコバトで、子どもたちの心の平和を願い、大空を飛翔する翼をもって欲しいという願いがこめられているそうです。

「富士見市立つるせ台小学校」沿革

平成18年（2006年）4月、鶴瀬西小学校と上沢小学校が統合し「つるせ台小学校」が開校され、今年20周年を迎えます。

富士見市の小学校として、先進的な工夫を取り入れており、校舎にも特色があり、オープンスペースの教室を取り入れ、学年単位の行事を実践することもできる校舎の構成を取り入れています。また、その他の取り組みとして、太陽光発電、体育館換気システム、屋上緑化を配し、校庭も芝生化しています。

併せて「中央図書館西分館」も同所に併設され、常に先をいく新設小学校となっています。この春は585人の子どもたちが通っています。



「校章」の由来



校章は東京都にお住まいの方の作品です。つるせ台の「つ」をモチーフにし、富士見市の市章の富士山を「小」で表し未来に羽ばたく鳥を意味しているそうです。

最近のいじめ防止について

笠原 敬一さん（鶴瀬西2）

今の子どもを取り巻く環境で一番問題になっているのはスマホです。スマホはとても便利で親世代には、なくてはならなくなっているようですが、反面使い方を間違えると、非常に危険な道具でもあります。かつては他人とコミュニケーションをとるには、直接話し合うか、電話や手紙で特定の人と話し合うしかありませんでした。不特定多数の人に意見や情報を伝えるのは、ラジオかテレビ、新聞、週刊誌で、出もとがはっきりし、取り消しや訂正もできましたが、SNSではデマでも間違った情報でも、他人を中傷する言葉でも一瞬で全世界に流れ、取り消しもできません。またそれに加えて、匿名でいい加減な付け加えをする人もあり、いわゆる炎上することもあります。

近頃ではSNSを利用した闇バイトが問題になっています。また、ネットゲームでの課金問題をおこす子どもも増えているようです。ユーチューブでは人気が出るとなぜか収入があり、人気とりのために本人はふざけたつもりなんだろうが、いたずらをしている姿を流して喜ぶ若者が、たびたび問題になっています。

子どもの中には悪いことばかりではないのですが、将来ユーチューバーになりたいという言葉も聞きました。さらにAIを使って本物と見分けがつかないことや、フェイクニュースも簡単に作りネットに流せる時代になりました。責任もなく、事実かどうかいい加減な情報が自由に世界に流せる中で、場合によっては犯罪者になったり、被害者になることもあり、これを防ぐ手立ては、現時点では、親による子どもへの使い方教育の徹底しかありません。皆さん、自分のお子さんは大丈夫ですか？



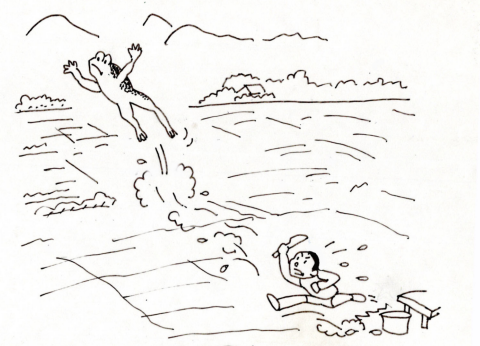
子どもの頃の思い出 ～カエルと徒競走～

萩原 弘さん（鶴馬）

現在91歳の私が小学生だった戦時中の話です。

大きな食用ガエルと徒競走？をしたことがあります。昔あった南畑村の沼で釣り上げた食用ガエルを鶴瀬西の自宅に持ち帰り、調理しようとビクから取り出したところ手が滑り、畑へ逃げ出してしまいました。背中直径は、15センチほどの大きな食用ガエルで、飛び幅は2～3メートル。獲物逃がしてなるものかと、耕してある畔を踏み散らかして、カエルを追いかけてました。捕まえた時の達成感は、ただホッとしただけだったけれど。

このような思い出に残る西地域は、今では賑やかな住宅地となっています。80年もたつと、風景はずいぶん変わるものだなと思いました。



思い出をイラストに（萩原氏作）